

令和8年度第1回高根沢町若者ミーティング 記録

1. 開催日時 : 令和8年8月19日(水) 19時00分～21時00分
2. 開催場所 : 高根沢町役場 第1・2会議室
3. 会議の趣旨 : 町長と各委員との意見交換
4. 委員構成 : 男性4名、女性5名
(10代:0名、20～24歳:2名、25歳以上:7名)
町内在住の子育て世帯の方、大学生の方、町出身で町外在住の方等

5. 事務局

高根沢町企画課	課長	檜 山 史 進
	課長補佐	直 井 義 之
	係長	菅 谷 昌 孝
	主任主事	石 川 秀 幸

6. 意見交換内容

Aさん
(町の良いと思うところ) ・景観や交通利便性等、良い意味でちょうどいいと感じる。 ・子育て環境が充実しており、図書館や児童館の他、遊ぶ場所や過ごす場所も多い。 ・何もない町ではなく、人も場所も制度もしっかりしていると思う。 (町の課題) 何か活動等を行いたいときに、どこに相談すればよいかが分からない。町のことや困りごと等を気軽に相談し合って繋がれるような第3の居場所があるとよいと思う。子育て世帯向けのものがあるとよい。
町長コメント
《町長コメント》 活動意欲のある人同士が繋がれるようにし、また、まちづくりや子育てについて人々が気軽に相談できるような場所を作るとは有用と考える。
他委員からの意見及びコメント
なし

Bさん
(町の良いと思うところ) ・アクセスが良く、ストレスなく過ごすことができ、住みやすい。 ・町のために頑張ろうと活動するエネルギッシュな人が多い。宝積寺駅前の広場の取組がその活気に寄与していると思う。 (町の課題) ① 町外への町の魅力の発信が不足していると感じる。うまく発信できれば町の良さが十分伝わるため、発信に工夫が必要。ご当地アイドルやグルメ系のインフルエンサー等と連携するのが有効だと思う。「たかねざわ伝え隊」(Instagramでの住民目線による情報発信事業)による発信は町内の方向けの投稿が現在多いと思われるが、町外の方にも町の魅力が伝わるよう発信内容・方法の工夫をするとよいと思う。 ② 観光スポットに行く際に車が必要なことも難点。歩いて行けない場所に行くために宝積寺駅等から観光バスを配置する等の工夫ができればよいと思う。有力な観光拠点を有する近隣市町と協力することも有効と考える。
町長コメント
① について 昨年度の若者ミーティングにおいて、住民が欲しい情報(例：子育てに関する情報、グルメ情報、イベント情報)がうまく伝わっていないのではないかという課題感が浮かび上

がってきたことから、今年度「たかねざわ伝え隊」の活動が始まった。今後も情報発信の強化を図るとともに、活動の方向性についても現在模索しているところである。また、過去に町のプロモーション事業としてU字工事さん、女優の石川恋さんを起用したことがあるが、いずれも一過性のものに留まっているため、有名人の起用については見通しを吟味する必要がある。 ② について 現状としては宝積寺駅からの観光における交通手段はタクシーしかない。新庁舎の完成を見越して、宝積寺駅と新庁舎エリアと道の駅たかねざわ元気あつぷむらを絡めた移動手段を検討していきたい。また、栃木県の広域的課題として、「周遊観光」が鹿沼・日光・塩谷地区において現在挙げられており、二次交通についても当該区域内で広域的に向上させることを検討中である。
他委員からの意見及びコメント
なし

Cさん
(町の良いと思うところ) ・人と人との距離が近く、絆が強いこと。 ・ほどよい規模であること。 (町の課題) 大人同士がすごく頑張っているのは分かるが、若者が楽しめるようなお祭り等のイベントが減っている。高根沢町は地域内の繋がりが強く、何かやろうと思えば動ける地域だと思っているので、新しいものを作るよりも既存のものの良さに一人ひとりが気付けるようになれば地域が盛り上がると思う。
町長コメント
平成20年を最後にたかねピア盆踊り花火大会が開催されなくなり、その後、町民の有志で実行委員会を組織し、秋の収穫祭を兼ねて毎年秋に「たんたん祭り」を行っている。盆踊り花火大会を復活させようとする動きはあり、私もその方々と、来年・再来年あたりの実現も見据え、前向きに意見交換をしている。子どもたちにそういったお祭りを見せて、ふるさとである高根沢町をもっと楽しんでもらい、長く住んでもらいたいという想いに応え、私もぜひ復活に向けて一緒に頑張っていきたい。
他委員からの意見及びコメント
「塩谷町えかんべ祭」等、他市町においても盆踊りのお祭りを復活させる動きがある。高根沢町の子どもたちも小学校の運動会等で高根沢音頭を踊れると素敵だと思う。地域のコーディネーターや学校の地域連携教員と連携していくとよい。

Dさん
(町の良いと思うところ) ・安住神社、宝積寺駅、御料牧場、たかねざわ伝え隊、吹奏楽団、全国からマラソンファンが集まり箱根駅伝の青山学院大学や東海大学の選手も参加する元気あっぷハーフマラソン大会等、魅力のある点が数多く挙げられる。 (町の課題) ① 「真岡いがしら温泉 おふろ café いちごの湯」や那須のカフェに比べて高根沢町の見どころは劣っていると思えてしまう。例えば国道4号を活かして付近に道の駅を建設する等、立ち寄り場所としての観光資源の構築をするとよいと思う。また、町民が定期的集える場所、気軽に相談に行ける場所があるとよく、タウンセンター等の集会・交流施設を改修する等の工夫がされるとよい。 ② たかねざわ伝え隊の発信は写真よりも動画の投稿が有効だと思う。また、それ以外の発信方法として、町に来ていただいた方に自身の SNS での掲載を促すことができれば、口コミも豊富になると思う。
町長コメント
① について 国道4号は国道408号と接続される予定であり、車の交通量増加が見込まれるため、交流拠点を設けたいと考えており、土地利用制限や鬼怒川の浸水想定区域の関係について来年度調査を行うことも含め、今後の進め方を検討しているところである。交流拠点の内容としては、まだ検討中で決まてはいないが、農産物の販売やレストランで食事を楽しめるような道の駅も可能性の一つとして構想している。温泉施設を有する既存の道の駅たかねざわ元気あっぷむらについても集客の工夫等を引き続き研究しつつ努力していきたい。 ② について 情報発信は町の知名度向上に欠かせないため、あらゆる方法を検討していきたい。
他委員からの意見及びコメント
なし

Eさん
(町の良いと思うところ) ・地元の友達が好きで、成人式の実行委員会にも参加した。 (町の課題) ① 公園の劣化・使用制限やカラオケ店の撤退等により町の娯楽施設が少なく、食事や買い物に出かける際も宇都宮に行ってしまう現状を寂しく思う。町内に遊べるような場所を増やせるとよいと思う。

② 鬼怒グリーンパークがもっと活気のある場所になればよいと思うが、老朽化した設備の修繕や陸上アスレチック等の廃止された設備の復旧はできないか。
町長コメント
《町長コメント》 ① 民間の店舗等は採算が取れないと判断されると出店先に選ばれず撤退されてしまうため、難しい課題である。 ② 鬼怒グリーンパークは栃木県の施設であるため、町では整備ができないが、町から栃木県に必要に応じて修繕等の要望をすることは可能である。
他委員からの意見及びコメント
なし

Fさん
(町の課題) (初等中等教育の形態として)義務教育学校に魅力を感じている。高根沢町の小中学校の統廃合を計画するにあたり、義務教育学校を作るという選択肢はあったか。義務教育学校ではICTやアクティブラーニングを活用したり、個別のカリキュラムを組む等の特色ある教育が充実しており、高根沢町がコンパクトシティを目指すなら義務教育学校一つに集約することを検討してはいかがか。魅力的な教育を売りにして転入者を獲得することも有効と考える。
町長コメント
現在、東小学校と北高根沢中学校において小中一貫教育の形を取っていることもあり、小中学校統廃合の議論の中で義務教育学校の形を採用することは検討していない。また、既存の学校の他に学校を新設することは財源の観点からも難しい。
Fさん
また、要望だが、採用の是非にかかわらず、事業の検討に当たっては、先進事例の調査・研究等、勉強を積極的に行ってほしい。
他委員からの意見及びコメント
なし

Gさん
(町の良いと思うところ) →質問：町長が思う町の良いと思うところは何か。 (町の課題) ① 跡継ぎ問題等からか町内のお店が少なくなっており、食事や買い物に出かける際も大

型商業施設のある宇都宮に行きがち。町内の店舗が活性化するとよいが、店舗に対する補助等はあるか。 ② 小児科に特化した病院がない等、子育て環境が未熟だと思う。町長は町において優先度が最も高い政策分野はどの分野であると考えているか。
町長コメント
(町の良いと思うところについて) ・自然が豊かで、米どころとしてお米が美味しく、農産物も豊富である。 ・情報の森とちぎやテイ・エステック等があり、新たな企業の進出もみられる。 ・市街化区域と市街化調整区域の線引きがあることで大型商業施設の参入により小型店が閉店を強いられるといったことがない。 ・農・商・工のバランスが取れており、人口規模もコンパクトで住みやすいと考える。 (町の課題について) ① について 新たに創業する方に対しては2年間の家賃補助制度を設けている。既存の店舗事業者に対してはそうした補助はない。 ② について 教育と福祉を重要視している。福祉分野についてはこれまでも充実を図ってきたところであり、今後は教育分野の充実さらに力を入れたいところである。
他委員からの意見及びコメント
なし

Hさん
(町の良いところ) ・子育てがしやすいこと。 (町の課題) ① 町内の公園はどれも駐車場が少なく、車で公園に行く人にとっては駐車場が充実しているとよいと思う（育児サークルで多く出ている意見）。 ② 近所に私人所有の公園があり、遊具が老朽化していて危険だと思われるが、どこに相談すればよいか。 ③ 子育てをする上で自治会に加入していることによる横のつながりは有用と感じる。若者が自治会に加入するメリットを作れないか。また、それを発信してはいかがか。
町長コメント
① について 公園は主に近隣住民が利用することを目的としているため、駐車場を設けることは難しい。

② について
私人所有の公園の場合、町は関与できない。当公園の現況を調べて後日個別に回答する。
③ について
町の自治会加入率が低く課題であるため、引き続き自治会と共に対応していく。
他委員からの意見及びコメント
なし

I さん
(町の課題)
① 栃木県内でも高根沢町を知らないという人は多いと思う。町の知名度を上げるため、キッズスペース併設のカフェ等を設けて集客し、町の魅力を創出・発信してはどうか。例えば小中学校統廃合による廃校舎を活用できると思う。
② 離乳食教室に参加した際、職員に質問をしても曖昧な回答をされてしまい、相談しにくい印象である。
③ JR 宝積寺駅の線路付近を通る乗用車の運転マナーが悪く、子どもたちの登下校の際に危険なため、交通ルールの啓発や、小中学校での交通安全教室を実施してはどうか。
町長コメント
① 地域の意見を踏まえつつ、廃校舎等を活かして人々に自由に利用いただけるような場を設けることは有用と考える。
② 事実確認の上、町民の皆様にご迷惑がかからないように職員を指導する。
③ 学校においては自転車の利用について指導している。今後も強化を呼びかける。
他委員からの意見及びコメント
なし

総括（事務局）

いただいたご意見等については、関係課と情報共有するとともに、町の未来創造会議にて協議する。その結果について、第2回若者ミーティング（時期未定）で報告させていただく。

以上